

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.19) 2008.6.30

もくじ

1. 4月度 定期ボランティア活動・報告
<春の一般公開サポート>
2. 5月度 定期ボランティア活動・報告
<造林研修会&歩道標識杭の補修整備>
3. 6月度(1) 臨時ボランティア活動・報告
<7月度 臨時活動 向峯歩道コース下見>
4. 7月度(1) 臨時ボランティア活動・募集案内
<麻綿原のアジサイを見よう>
5. 7月度(2) 定期ボランティア活動・募集案内
<高校生ゼミナールサポート>
6. 8月度(1) 定期ボランティア活動・募集案内(予告)
<夏の森林教室サポート>
7. 8月度(2) 定期ボランティア活動・募集案内(予告)
<下刈作業と新規設置標識杭歩道の調査>
8. 平成20年度会員名簿
<6月末現在>

4月度 定期ボランティア活動・報告

～春の一般公開サポート～



ボランティア 石川 輝雄

今年の春の一般公開は4月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)の4日間にわたって行われる予定でしたが、大雨により公開コースの一部である川回し^{注)}の滝ノ沢トンネルの上で土砂

崩壊がありました。

その結果4月12、13日、19日の一般公開は中止となり、4月20日の1日のみの開催となりました。ボランティア会としては累計16名（1日平均6名程度）の多くのサポート参加申し込みがあり、対応する予定でしたが、期待に添えない形になりました。4月20日の参加者は、当初予定していた田生、岩崎ご夫婦、石川（輝）の4名に米倉、恵、土橋さんの3名が加わって7名です。

当日の天気は予報では曇りで時々晴れとのことでしたが、実際はどんよりとした厚い雲がたちこめて一時小雨がぱらつくよううすら寒い1日でした。

この天気では来林者も期待薄かと思われましたが、最終的には381名の方々が見えました。前々回の天気の良かった時でも2日間で500名位の来林者でしたので、決して少ないとは言えず、この一般公開を楽しみにしているかたが多いのだなと思いました。

販売しているガイドブックや絵葉書もサービスに準備したクラフト^{注)}の効果があってのか予想外に多く購入いただきました。参加された皆様ご苦労様でした。

来年は天気に恵まれ、皆さんで新緑の美しさを堪能出来るように期待したいものです。

注) 川回し

蛇行している川を、トンネルなどを掘って短絡させ、残った三日月形の川跡を田圃に使った方法。千葉県南部に見られ、千葉演習林の一般公開コースのなかにも何箇所か見ることができる。トンネルは素掘り（手作業）であるが、この地方の石が水成岩で比較的掘りやすいことから出来る方法である。

クラフト

従来のムクロジやドングリを使ったストラップの他に、今回は木の枝を削って鉛筆形にしたクラフトを追加準備した。



崩壊した滝ノ沢



マルバウツギの花

5 月度 定期ボランティア活動・報告

～ 造林研修会 & 歩道標識杭の補修整備 ～

1. 造林研修会



ボランティア 石川 輝雄

5月20日(火)に演習林職員の研究内容・研修報告や学会報告等が行われる造林研修会があり聴講しました。参加者は岩崎(寿)、恵、土橋さんと石川(輝)(れい)に加えて岩崎さんの紹介で体験参加の川浪さんが参加して計6名です。他に新しく入会された刈込さんが参加の予定でした

が、当日は朝から猛烈な雨風が吹き、安全のため参加取りやめとなりました。私も天気の状態を見ての参加で午後からの参加となってしまいました。

今回の造林研修会は演習林の職員の皆さんの仕事や研究の全体が把握出来るような形の発表内容で今後の Abies の活動の参考になります。

また当日は恒例で“山の神様”への安全祈願の参拝がありました。清澄作業所の“山の神様”は入口左側の崖の上に鎮座されていて石の祠です。登り口の階段は以前 Abies の活動で直したのでしっかりしているのですが、鳥居がやや傷んでいました。機会があれば是非なおす手伝いを Abies の活動にしたいと思います。

2. 歩道標識杭の補修整備(加勢・小仁田歩道)

ボランティア 中原 紀代治

5月21日(水)に歩道標識杭の補修整備をおこなった。今回の場所は加勢、小仁田歩道(杭番号 L0~L17, K20~K30)で Abies 担当分の最後の区間である。

私は今年、入会して初めての活動参加であるが前日の風雨も嘘のような快晴で素晴らしい天気になった。別の団体でのロングハイクや森林インストラクター会の自然観察会で歩いた時、林道や歩道の脇に100mおきにある標識の杭は誰がどの様に杭を打つのだろうと前々から気になっていました。

清澄作業所に8時30分到着した。前日の造林研修会に参加してそのまま泊まった方々が朝食中であった。お茶を頂いてから9時に、参加者6名(石川夫婦、米倉、恵、土橋、中原)が演習林の職員の才木さんと米道さんが運転してくれた2台の車に分乗し、ゲートを開けて郷台林道に入る。昨日の風雨で、木の枝が道路を時々塞いでいたが、先に行く車の才木さんと同乗の女性たちが手際よく、片づけながら走る。途中の相ノ沢三角点の手前から分岐する橋ノ沢林道に入り、終点到1台の車を残し、才木さんはそのまま参加、もう1

台の米道さん（の車）は郷台作業所に戻る。

標識杭を加勢林道分（杭番号K）と小仁田林道分（杭番号L）の二つに分けて他の道具とともに作業用リュックに背負って出発する。道端の手の届くほど近い所に黄色の花をつけたジャケツイバラが満開で本当に綺麗である。

今回のコースの入口は、以前森林インストラクター会で歩いた記憶がある途中にモミの巨樹のある道で、伐採地 苗は植樹されている を横切る。郷台作業場のほうに行く三十三曲歩道の分岐点が杭番号L0でスタートである。

50mの長さの検縄を使って、100mごとに杭の間の距離を確認しながら消失した標識杭を補っていく。才木さんの先導で、カーブは検縄を沿わせて、林相図と照らしながら杭の場所の位置を探す。

素掘りのトンネルを抜けて先の分岐を右折する。左側は帰りに杭を打つ予定の加勢歩道（標識杭K）である。小鳥の声を聞きながら、歩きやすい道でAbiesの担当分杭番号L17まで順調に作業は進行した。その先杭番号L18~L27は、“NPO房総の野生生物調査会”の担当分で、すでに設置が終了しているが、そのまま辿って行く。ここからは急坂や沢を横断する道で歩道も不明確になり、すべりやすく危険な道で、途中には滝もあった。

このあたりは、ヤマビルの多い場所でもある。先頭の才木さんが歩くと反応して動きだす。塩水やヒルガードで防いでいるので、足元から上がれない様子であるがこれも初めて見た。気持ちが悪いが良く観察が出来た。沢を離れる場所には目の覚める様な白いヤブデマリの花も、最高の見物である。登り切り、保護樹のケヤキ付近で、サンコウチョウの声を聞くこともできた。

12時すぎ、ヤマビルが出そうもない乾燥した場所を選んで昼食をとったが、食事が終わり、ふと見ると右手首に血が出ていた。やられた。丸くなったヤマビルがポトリと落ちたが杖を伝って上がったのだらうと思われる。食事が終わり、後半の杭番号K20~K30の加勢歩道に入り、順調に作業は進行して、出発点の橋ノ沢林道の終点に到着した。

ここで苗の補植をしている清澄の職員3名に会う。はるか下にヤマゴボウらしい大柄の花が見えたので写真を撮り後で調べた結果、ヨウシユヤマゴボウではなくマルミノヤマゴボウまたはヤマゴボウと思われる（右写真）。



14時20分ごろ車で清澄作業所に戻る。途中、車の前を“たぬき”のような動物が走って逃げた。才木さんが直ぐにアナグマだと言う。5~6m離れた斜面で、立ち止まったので才木さんがデジカメで撮影した。

最後に清澄宿舎で美味しいお茶を頂き、今回の活動はすべて終了した。自然を満喫しながら手伝いが出来て、最高に楽しい1日だった。今後ともよろしくお願いします。

6 月度 (1) 臨時ボランティア活動・報告

～ 向峯歩道コース下見～

ボランティア 恵 京子

4 月から 5 月にかけて天候に恵まれず、Abies 活動が中止になったので、それを補う目的で 7 月に臨時 Abies 活動 (自然観察会) が計画されています。そのコース (案) の確認のための下見をおこないました。参加者は石川 (輝)、土橋さんと恵の 3 名それに職員のオ木さんが同行され、三次さんに車の送迎をお願いしました。

入梅時なので、好天の日を選んで下見をと言うことで、急遽 6 月 6 日 (金) に実施することに決まり、9 時過ぎに清澄作業所を出発して一杯水林道を歩きました。途中菖蒲沢に寄ってから少し先のツクバネガシの保護樹のある場所 (杭番号 W0) より演習林の東側境界尾根である向峯歩道 (杭番号 W0 ~ W54) を南下し、最



向峯歩道

後は本沢林道へ下るコースです。向峯歩道の長さは 5 . 6 k m あり、一杯水林道の 3 . 0 k m を加えて合計 8 . 6 k m ありますのでかなりの長丁場と予想されました。

一杯水林道は雨上がりで霧が深く、幻想的な杉木立を見下ろしながら歩きます。野性のイチゴの中ではダントツの可愛さと美味しさのモミジイチゴが実っていて、雨に濡れてキラキラと宝石のように光っています。すぐ近くで野鳥の音が響いています。シジュウカラ、オオルリ、ウグイス、ホトトギス、私が知っているのはこのくらい、他にも鳴いていたのですが名前がわかりません。

深山幽谷の趣き…一杯水林道からの谷は深く、切り立っています。遠目に白い花は目立ちます。今の時期は、ガマズミでしょうか？途中気になったつる植物、イワガラミ？ツルアジサイ？何だろう？花が咲くとわかるんですが、我が家にあるものとよく似ています。

“ 菖蒲を自生地に帰そう作戦 ” ^注 予定地の菖蒲沢を過ぎて、一杯水林道から向峯歩道に入るころ、少しずつ霧が晴れて陽が射してきました。このコースはモミの大木が尾根のいたるところにあり、足元には白くて小さいアリドオシの花が咲いていました。また株立ち

のスタジイの大木もありました。その他木には陸生の巻貝、キセルガイの仲間、クモそれとも昆虫？（ザトウムシ）が張り付いています。

道半ばの杭番号 W21 の付近のひらけた所で昼食、おにぎりをほおばり、しばし休憩しました。

昼食後出発してすぐにアオダイショウに遭遇し、私たちも驚きましたが相手はもっと驚いたようです。ここは硯石という場所ですが、層をなした岩に緑のコケがついて独特の風景です。途中何箇所かは道が紛らわしいところがあり、下見をしていなければ確実に迷ったと思われます。

最後、本沢林道におりる所でイチヤクソウを薄暗い林床で見つけて、大喜び！！花の周りに陽が射して、まるで舞台の上でスポットライトを浴びている森のスターのようです。

午後3時本沢林道に降り、待機してくれていた三次さん運転の車で、清澄作業所へ戻りました。かなり長い行程でしたが、才木さんの道案内で無事全部を歩くことができました。

最初の一杯水林道は歩き慣れた眺望の開けた快適な林道歩き、向峯歩道は、モミの天然林の尾根歩き。途中ピークをいくつかまき、照葉樹林のマテバシイの林を抜け、遠矢ヶ台という平らな見本林へ降り、そこから急降下すると本沢林道に出ます。今回は雨上がりで気温がかなり高い一日でした。ヤマビル対策を完全にしたために被害にあった者はいなかったものの、かなり神経を足元に集中させて歩くこととなりました。

今回は省略しましたが7月にはこのコースに加えて麻綿原への往復が加わります。7月ともなるとこれからさらに気温が上がり、条件はさらに悪くなるので、このコースを7月のAbies活動に使うことは見送ることになりました。来年の総会後の“演習林を歩こう”の候補かも知れません。7月のAbies活動はアジサイの花を堪能できる、麻綿原へ、時間をかけてゆっくりと植物観察、撮影をしながら歩こうという形になりました。みなさん、お疲れ様でした。でもお疲れは私だけかも・・・

注)“菖蒲を自生地に帰そう作戦”

菖蒲沢には名前の通りショウブサトイモ科が群生していましたが、シカの食害で絶滅してしまいました。たまたまここにあったショウブの苗が麻綿原の妙法生寺に生き残っていることがわかり、一部の苗をお寺からいただいて来て、札郷作業所他で育成中です。ある程度の量の苗に育ったら菖蒲沢に植え、ショウブの群生地を復活するつもりです。もちろん、そのままではシカに食べられてしまうので防護用の網で囲います。



菖蒲沢

7月度(1)臨時ボランティア活動・募集案内

～麻綿原のあじさいを見よう～

4から5万本のアジサイが一面に咲く麻綿原に向かって清澄より一杯水林道を歩きます。歩きなれたコースですが、暑い時期でもあり、時間に余裕がありますのでゆっくりと自然観察や写真撮影を行いながら歩きます。一般のお客さんも多い時期なので Abies の P R もしたいと思います。

多くの参加をお願いします。

日 時 平成 20 年 7 月 1 2 日(土)(日帰り)

コース 清澄作業所 一杯水林道 桜ヶ尾新道 菖蒲沢 麻綿原
(帰り : 同じ道を戻る)

集 合 清澄作業所 9 : 00

解 散 清澄作業所 16 : 00 頃

内 容 自然観察と植物等の写真撮影

定 員 なし

参加費 なし

持ち物 筆記用具、弁当、水筒(水またはお茶)、野外活動ができる服装、靴(登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、会員証、暑さ・ヤマビル対策など

雨天時 状況によりコース変更あり

受付期間 平成 20 年 6 月 2 5 日(水) ~ 7 月 4 日(金)

申込方法 電話、FAX、E-Mail のいずれかでお申込みください。

参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

7 月度 (2) 定期ボランティア活動・募集案内

～ 高校生ゼミナールサポート～

「高校生のための森と海のゼミナール」(主催：高校生のための森と海のゼミナール実行委員会)が、東大千葉演習林と千葉大学海洋バイオシステム研究センター(鴨川市小湊)において、高校生を対象に行われます。活動のサポートをするボランティアが必要です。様々な実習や試験地見学、講義等があるので、千葉演習林を知るためにもよい機会になると思います。皆様奮ってご参加ください。

また、心当たりの高校生がいたらご紹介ください。詳細内容はホームページをご覧ください。

日 時 平成 **20** 年 **7** 月 **29** 日(火)～**31** 日(木)

(2泊3日、原則全参加)

集 合 7月29日 13時00分 清澄作業所

JR安房鴨川駅またはJR上総亀山駅に集合も可能ですので、この参加の場合は連絡ください。

内 容 活動の補助、写真撮影など。

定 員 3名程度(女性が1名以上いると望ましい)初参加者を優先します。

宿泊場所 札郷学生宿舎(0439-39-3122)または 清澄学生宿舎(04-7094-1990)

費 用 全参加：4,500円程度(補助が出る可能性もあります。)

持 ち 物 飲み物、筆記用具、野外活動ができる服装、地下足袋か布を巻いた長靴(ヤマビル対策として)、雨具、洗面用具、寝巻、リュック、懐中電灯、虫除けスプレー、ばんそうこう、健康保険証のコピー、常備薬、会員証など

受付期間 7月1日(日)～7月10日(木)

申込方法 電話、FAX、E-mailのいずれかで連絡ください。

参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

8月度(1)定期ボランティア活動・募集案内 (予告)

～夏の森林教室サポート～

親子で川とふれあう～生き物観察会～というテーマで小中学生とその保護者が参加する「夏の森林教室」が行われます。この行事へのサポーターを募集します。

詳細決定次第、募集案内をします。元気な子供たちと夏の自然を過ごすのも大変楽しいことです。多数参加ください。

日 時 平成 20 年 8 月 9 日(土)(日帰り)

当日の小雨決行、無理なら8月10日に延期予定。

内 容 参加者の引率、自然解説、写真撮影など

定 員 5名程度

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

8月度(2)定期ボランティア活動・募集案内 (予告)

～下刈作業と新規設置標識杭歩道の調査～

8月度の定期ボランティア活動は、下刈作業と標識杭を新規に設置する予定の歩道の事前調査をおこないます。暑い時期ですが、この活動も重要作業と位置付けしています。

詳細は後日ご案内しますが、多くの参加をお願いします。

日 時 平成 20 年 8 月 21 日(木)～22 日(金)

(1泊2日：1日のみの参加も可能)

内 容 *下刈作業(毘沙門：天津小学校実習場)

*新設置歩道標識杭の設置のための事前調査(遠矢ヶ台歩道：本沢林道より)

*下刈り、苗畑除草(見本林、郷台作業所など)

ご 注 意 暑さが予想されます。熱中症にならないよう、こまめに水分をとりましょう。

下刈りでは日が照り付けますので、帽子・首巻タオルなど直射日光に当たらないような装備も忘れずに。ハチも要注意です。

申込、お問い合わせ先 千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄

平成20年度会員名簿(平成20年6月末現在)

西山 康利	館山市	白石 利明	千葉市
岩崎 寿一	木更津市	石川 れい子	千葉市
岩崎 香代子	木更津市	堀込 光代	木更津市
藻寄 栄一	習志野市	気賀 祥太郎	木更津市
藻寄 澄江	習志野市	気賀 佳江	木更津市
藤田 和孝	福島県 西郷村	菊池 ヌキ子	千葉市
米倉 義男	木更津市	中村 文子	市原市
近藤 吉一	木更津市	秋葉 正子	千葉市
近藤 禮子	木更津市	土橋 てる子	市原市
湊辺 文明	館山市	中原 紀代治	茂原市
石川 輝雄	千葉市	片岡 富美江	茂原市
村上 雅彦	千葉市	川浪 嘉人	木更津市
恵 京子	市原市	刈込 鋭子	君津市
田生 健一	習志野市	川浪 久枝	木更津市
相川 美絵子	千葉市	清水 千絵	君津市
野崎 和男	市原市		

この名簿に誤りがあったり、振り込んだのに名簿に載っていないなどの場合、事務局にご連絡ください。

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.19 2008/6/30 発行

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

石川 輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321